

令和3年度 高松盆栽振興事業 概要

〔事業の趣旨〕

香川県高松市は松盆栽生産全国一位の産地であり、EU諸国や台湾などへの輸出が注目されているが、国内需要は長期にわたり低迷しており、海外への輸出促進と併せて、国内需要の拡大が急務である。また、産地の維持・活性化を図るために、後継者育成や生産基盤の強化、盆栽文化の普及・定着活動が重要となる。

このため、盆栽を地域資源としてとらえ、「高松盆栽の郷」基本構想における4つの基本方針「国内需要の拡大」「輸出の拡大」「産地基盤の強化」「高松盆栽の郷づくり」に基づき、各種施策を展開し、高松盆栽のブランド化と産地振興を推進する。

1 国内需要の拡大

○高松盆栽広報及び誘客促進事業

雑誌等へ誘客を目的とした記事を掲載し、盆栽の新たなターゲット層を開拓する。

⇒令和3年度は、インテリア・ライフスタイル雑誌の編集者等で構成する高松盆栽取材キャラバンチームを結成し、情報発信及びプロモーションを行う。

2 輸出の拡大

○盆栽輸出促進事業

輸出用盆栽の生産に必要な施設・機械（栽培用棚、隔離用網室、土壌消毒機、防除用機械等）の整備に対し助成するもの。

⇒令和3年度は、認定農業者2名が実施（栽培棚、育苗用ビニールハウス等）。

3 産地基盤の強化

○盆栽研修生受入事業

令和元年度に整備した研修施設「(株)盆栽の匠」が実施する研修生の募集及び受入事業に対する支援を行うもの。

⇒新型コロナウイルス感染拡大のため、海外研修生の受入はキャンセル。

⇒令和3年度は、盆栽雑誌への広告掲載や展示会で、研修施設・制度のPRを行う。

4 高松盆栽の郷づくり

(1)「高松盆栽の郷」魅力発信

拠点施設を活用し、高松盆栽の郷の魅力を国内外に発信するための交流活動や観光客向け盆栽体験の実施等に対する支援を行うもの。

⇒令和3年度は、「高松盆栽学校」を通年開講するとともに、2回目の開催となる「高松盆栽の郷フェスタ 2021」については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年度に引き続きオンラインイベントとして開催した。

(2) 盆栽及び産地の情報発信機能強化

高松盆栽及び産地PRのためのウェブサイト等の作成を支援するもの。

⇒令和3年度は、高松盆栽の郷ECサイトの再構築を支援し、令和3年9月30日に高松盆栽ホームページ及びオンラインストアの一体的な運用を開始した。

令和4年度 高松盆栽産地ブランド確立事業 概要

〔事業の趣旨〕

香川県高松市は松盆栽生産全国一位の産地であり、EU諸国や台湾などへの輸出が注目されているが、国内需要は長期にわたり低迷しており、海外への輸出促進と併せて、国内需要の拡大が急務である。また、産地の維持・活性化を図るために、後継者育成や生産基盤の強化、盆栽文化の普及・定着活動が重要となる。

平成29年度にスタートした地域再生計画に基づく事業が、令和3年度をもって終了となるが、令和4年度以降においても「高松盆栽の郷」基本構想の実現を目指して各種施策を展開し、世界に誇れる高松盆栽の産地ブランドの確立を図るものとする。

1 高松盆栽の輸出拡大による盆栽産地活性化対策の推進

(1) 輸出向け情報発信

盆栽の輸出を推進するための情報発信を行うホームページの多言語化を支援する。

(2) 輸出盆栽流通販売体制確立事業

デジタル技術等を活用した輸送技術の向上、効率化を図る取り組みやEU向けEU向けクロマツ盆栽の輸出解禁を受け、海外からの問い合わせを販売に繋げるため、現地における盆栽販売拠点となるバイヤー育成等を通じた、輸出販売の強化に支援するとともに、研修生の受け入れに支援する。

2 盆栽ツーリズムと盆栽エクスペリエンスによる高松盆栽の郷づくりの推進

(1) 「高松盆栽学校」及び「高松盆栽の郷フェスタ」開催支援

国内需要の拡大を目的として開催する「高松盆栽学校」の運営を支援するとともに、高松盆栽の郷の魅力を国内外に発信するため、「高松盆栽の郷フェスタ」開催に対する支援等を実施する。

(2) 盆栽サブスクリプション（盆栽新需要開発）

貸盆栽の取組を盆栽サブスクリプションとして事業化するなど、新たな需要を開拓し、盆栽を楽しめる機会を増加させる取組に対する支援を行う。

(3) 盆栽ツーリズムの促進

「高松盆栽の郷」を中心としたモデルコースの創出やモニターツアーの実施等を支援することにより、交流人口の増加を図る。